



4日に博多駅近くの近代ビルで結団式がありました。団長は日本スポーツ少年団常任委員の富田先生です。



出国審査も無事通過しよいよ中国に出発します。2時間後には上海空港、そして7時間後には中国で9番目に大きな都市である武漢市の空港に到着します。団員達のテンションも徐々に上がってきています。



武漢空港では武漢市の団員32人と指導者が、私たちの到着を首を長くして待っていてくれました。熱烈歓迎です。



6日に武漢市にある湖北省博物館に行きました。武漢は2200年程前は「楚」が支配していた地域です。当時の武器や鎧が展示されており、正に「リアルキングダム」の世界を堪能してきました。



6日に歓迎晩さん会が盛大に開かれました。武漢の郷土料理を堪能しました。また、中国の団員からの嗜好を凝らしたプレゼントに日本の団員達も大喜びでした。



武漢市は中国で9番目に人口が多く1,080万人が暮らしています。見渡す限り高層ビルが連なっています。



日中青少年団員交流 宇美町から8人が参加 湖北省武漢市を中心に大陸文化を満喫

8月5日から11日までに7日間日本スポーツ少年団の事業の「日中青少年スポーツ団員交流」が開催され、宇美町スポーツ少年団からは、リーダー会のメンバーを中心に、誠心館宇美八幡支部、宇美町初心者バドミントンクラブ、飛鳳会から8人が参加しました。

この事業は、隔年で派遣と受入を行っており、昨年は島根県で受入を行い、今年は九州と中国ブロックの団員を中国の湖北省へ派遣し、来年は福岡県が受け入れを行う予定です。もちろん宇美町にも中国の団員がやって来る予定です。

武漢市は、内陸部の長江（揚子江）の中流域に位置しており、人口は1,080万人の大都市です。

武漢市の隣の仙桃市でスポーツ交流を行い、宜昌市では、三峡の滝散策や、世界最大級のダムである三峡ダムの見学を行いました。

参加した団員達はこの国際交流を通じて大きく成長しました。来年の受け入れでも中心になって頑張ってくれそうです。



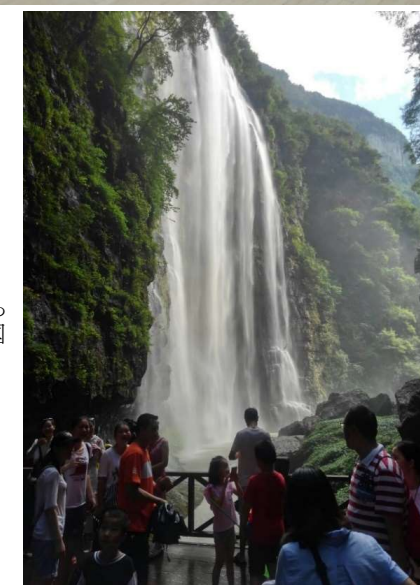
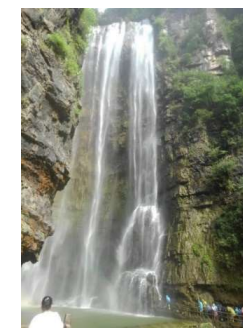
7日に仙桃市のバドミントンセンターで、日本と武漢市の団員がチームを組んで、仙桃市チームとバドミントン交流を行いました。経験者が二人だけでしたが、みんなとても頑張っていました。メンバー以外の団員もバドミントンをととして交流を深めました。



8日にドーム体育館でバスケットボール交流を行いました。エアコンも効いていて快適にゲームを楽しめました。最初に女子が武漢市と対戦し、見事勝つことができました。男子は武道をやっている団員が多く、球技はちょっと苦手だったのか、勝てませんでしたが、みんなとても楽しく交流しました。



8日に仙桃市の田園地帯に突如現れた超高級なゴルフ場に連れて行ってもらい、ゴルフ体験させてもらいました。とっても綺麗なゴルフ場で、経営者曰く中国でも一二を争うくらいの高級クラブだそうです。



9日に中国の十大瀑布の一つ三峡の滝へハイキングに行ってきました。約100メートルの落差と、その景観が素晴らしく、また滝の裏側を通れることで、有名な観光地になっています。



最終日は揚子江中流域にある世界最大級のダム、三峡ダムに行ってきました。湖北省の観光地としても有名で沢山の観光客が訪れていました。高さ189m、幅2,309mもあります。普通原発や火力発電所だと16基分の発電量があります。



日中青少年スポーツ団員交流も、いよいよ最終プログラムの送別会。日本団を代表して谷崎君が素晴らしい感想を発表してくれました。